

2020年12月23日

株式会社三菱UFJ銀行

「東京ポートシティ竹芝」の開発に係るサステナビリティローンを組成

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ}三毛 ^{かねつぐ}兼承、以下 当行）は、株式会社アルペログランデ（代表取締役社長 根津 登志之、以下 当社）と、サステナビリティ・シンジケートローン形式による不動産証券化に係るノンリコースローン（以下 本ローン）契約を、本日締結いたしました。

当社は、東京・竹芝地区の再開発事業会社として、東急不動産株式会社（代表取締役社長 岡田 正志）と鹿島建設株式会社（代表取締役社長 押味 至一）によって設立され、東京ポートシティ竹芝（以下 本物件）の開発・運営を通じて国際競争力の高いビジネス拠点の整備及び産業振興、防災対応力強化、環境負荷の低減に取り組んでおります。

本物件は国家戦略特別区域計画の特定事業として2015年に内閣総理大臣認定を受けています。また、本物件は約6,300人の3日分の防災備蓄による災害発生時の帰宅困難者受入体制の構築や非常時の電源供給による地域の防災力強化を図っております。また、竹芝地区において東急不動産株式会社、鹿島建設株式会社等が共同で推進するプロジェクトである「Smart City Takeshiba（スマートシティ竹芝）」は、東京都により「スマート東京」の実現に向けて先行的なモデルを構築するためのプロジェクトとして採択されています。

本ローンは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所より、セカンドパーティオピニオンを取得しており、「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」及び「サステナビリティボンド・ガイドライン」「グリーンローン原則」に準拠していることを確認しております。

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

<本ローン概要>

契約締結日	2020年12月23日
組成総額	900億円
アレンジャー/貸付人	三菱UFJ銀行、みずほ銀行
エージェント	三菱UFJ銀行

<プロジェクト概要>

物件名称	東京ポートシティ竹芝
所在地	東京都港区海岸一丁目20番9番他 (JR「浜松町」駅から徒歩4分、ゆりかもめ「竹芝」駅から徒歩2分、 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅徒歩5分)
主要用途	事務所、共同住宅、展示場、集会場、飲食店、物販店舗、駐車場他
敷地面積/延床面積	約15,591㎡/約201,410㎡
環境認証 (オフィスタワー)	DBJ Green Building認証 5つ星 CASBEE Sランク (自己評価)



<本物件>

以上